

埼玉県 獨協医科大学病院 様



導入システム 患者呼出システム(各科手渡方式)

Introduction

獨協医科大学病院様は、1974年(昭和49年)7月14日、栃木県壬生町に開院以来、高度の知識と技術を備えた医師を養成するとともに、高度な医療の提供と、医療に関する開発・評価及び研修を行う「特定機能病院」として地域医療の中核となっております。

1990年(平成2年)に栃木県指定機関として老人性痴呆疾患センター(現 認知症疾患医療センター)を開設、1997年(平成9年)には、総合産期母子医療センターを国及び県の要請を受けて開設されました。

さらに、2002年(平成14年)4月には厚生労働省指定の救命救急センターを開設し平成22年1月より栃木県ドクターヘリの運航を開始し、栃木県全域の三次救急医療の一端を担っております。

Solution

既設ポケットベル設備のインフラを有効活用して、診察室前の混雑緩和、患者サービスを目的として、2012年10月より、ポケットベル式呼出カード約300台を24科へ配置して運用を開始する運びとなりました。

診察室前でずっと待つ必要がなくなり、院内にあるカフェや共有スペースでも待てるようになり、患者様に好評をいただいております。



各科受付



待合室その1



待合室その2



患者様へ貸出のご案内



待合場所で時間を有効利用



ドクターヘリと病院外観